

平成31年2月

第40号

自治連だより

編集・発行
秦野市自治会連合会
広報編集委員会
事務局
秦野市役所市民部
市民活動支援課
市民活動支援担当
☎0463-82-5118

■ □ 市自治会連合会の活動について □ ■

市自治会連合会の活動は、多岐にわたり市・警察・社会福祉協議会と一緒に、市民が安全・安心で明るく豊かな市民生活ができることを考え活動することです。テロ対策・交通安全・防犯（振り込め詐欺）・防災など他の自治会連合会と意見を交わしながら、必要な組織に対して要求・提言などをしていくことでより良い社会を作っていくことだと思います。今回は、近年、地震・風水害と大きな自然災害が発生しており、防災対策について記したいと思います。

阪神淡路大震災・東日本大震災以降、国・県においては、防災に対する見直しが図られていますが、熊本・西日本の風水害・北海道地震・台風の大型化と自然災害が続いており、秦野市においても国・県の防災計画に準じて防災計画を早急に見直しを図っています。市自治会連合会の会議でも、市より地震・風水害の防災計画が提示され、内容についての意見等を求められました。市民から見れば西日本の風水害・北海道の地震被害をテレビ等で見られた時、わが秦野市は大丈夫だろうか？と思った方も多いと思います。できるだけ早く市に防災計画が実行されるようにして頂きたいと要望するのみです。

災害を考えた時、常に言われていることですが、各自の自助（自分の準備）・自治会（自主防災会・隣人）の共助・そして市・県・国の公助が大事です。市自治会連合会は、9月に共助の一環として広島・岡山の豪雨被害に対して、義援金のお願い活動をさせて頂きましたが、各自治会の皆様の協力により、1,172万円程の義援金が集まりました。皆様の力は凄いと思いました、ご協力に感謝します。災害はいつくるかわかりません、台風24号においては避難準備・高齢者等避難開始が出され公民館に避難された方も、何名かいらっしゃいました。各自の準備・自治会・市の準備も早急に必要で秦野市の情報提供の方法・避難所運営方法も課題であり、早急に対応をお願いしている状況です。

(本町地区自治会連合会副会長 佐野 典文)

地区のたより

「北地区福祉ふれあいまつり」を開催

平成三十年度の「北地区福祉ふれあいまつり」は十月七日(日)に北公民館において秦野市長を始め多数の来賓のご臨席を賜り盛大に開会しました。

「北地区福祉ふれあいまつり」は、北地区に結集する二八の団体等の協力により、緑豊かな北地区で、人々のふれあいを深め健康で温かい心の触れあうまちづくりに努め、思いやりの輪を広げ支え合う心のかけ橋とするために毎年開催し本年度で第二五回目を数えることとなりました。

開催当日は、季節外れの真夏日で汗だくとなりましたが、各種の催し物・模擬店・情報交換コーナー・福祉施設による手作り品販売コーナー等々終日大勢の来場者であふれていました。また、「福祉バザー」は、出品数・売り上げともに例年を上回り大盛況となりました。祭りを主催した実行委員会では、今後とも継続的に開催し、更に地域の繋がりと、思いやりの輪を広げていきたいとおもっております。ご協力をいただきました関係者各位に感謝申し上げます。



「丹沢まつり」に参加 西地区自治会連合会

毎年、山々が新緑に被われる4月、「秦野丹沢まつり」が開催されます。昭和32年(1957)に西秦野町の主催で「第1回丹沢まつり」が開催されてから今年(平成30年4月)で62回目です。今年(平成30年)も自然のすばらしさを求めて訪れた市民と観光客が一緒に山の上を歩きたしさを分かち合いました。

平成31年の第63回は、4月20日(土)と21日(日)の2日間「萌える丹沢 今、山開き」をテーマに、秦野戸川公園と西中学校校庭で開催されます。西地区自治会連合会では、秦野戸川公園会場において、秦野の名水で淹れるコーヒーを振る舞うと共に、新たに新緑の山々とふれあう山歩き(自然観察)などで参加する予定です。山歩きは、小・中学生、高齢者、一般市民に別れ、自然観察インストラクター等の指導のもと、森林、草花、小鳥などの観察を通して丹沢の自然とふれあいます。

このほか、会場には地域の名産品の販売、親子で楽しめる物づくりや川遊びなど、市民はもとより、登山者や観光客が丹沢の自然を楽しんでもらえる催しが盛り沢山です。

また、西中学校会場は、山岳関連ブースや模擬店、ミニステージなどで山開き式の関係をアピールします。参加して秦野に住んでいる幸せを実感してください。



大根地区ふれあいまつり実施

「おおね、いいね、みんなだね」を合言葉に大根地区第二十六回大根ふれあいまつりを平成三十年十月十四日大根小学校の校庭で、当日は天候を気にしながらも市長を始め多くの来賓の方々の列席のもと開催する事が出来ました。校庭では多くの諸団体の模擬店、中学生による吹奏楽演奏(写真)、高校生によるダンス、婦人会による地元の盆踊り等多くの催し物、体育館では児童、生徒の展示コーナー、バザーコーナー等を設け多くの参加者でにぎわい、又最後は「大抽選会」でおおいに盛り上がり多くの皆様のご協力により無事終了することが出来ました。



「鶴巻のまちづくり」

鶴巻地区自治会連合会

今、地域は変わりつつあります。自治会においてもその構成員の高齢者が占める割合が増大し、高齢を理由に自治会を退会されるケースが増えてきています。

以上は一つの例ですが、地域には様々な課題が存在しており、その対策が求められています。自治会や地区社協という組織のみでは解決できない現実があります。

そこで注目したいのが、「地域にこんなものがあると助かるね」「地域にこんな仕組みがあるといいね」など様々なニーズに対する個人やグループなどによる自発的取り組みです。

鶴巻地区では、地区社協や自治連の活動では手の届かない課題に対して、個人の方による自宅を解放しての居場所「モーチャンの家」や、まちづくり委員会と連携しての子育て支援や高齢者のサロン作りの「みんなのて」などによる活動が展開されています。私たちは、「こんな街を作りたい」の思いを共有して地域全体で取り組む「街づくり」を目指しています。



東地区「第31回実朝まつり」

を開催

東地区では毎年十一月二十三日勤労感謝の日に実朝まつりを開催しています。実朝公が一二九年一月二十九日に鶴岡八幡宮で甥の公暁の刃に倒れてから今年で800年目になります。

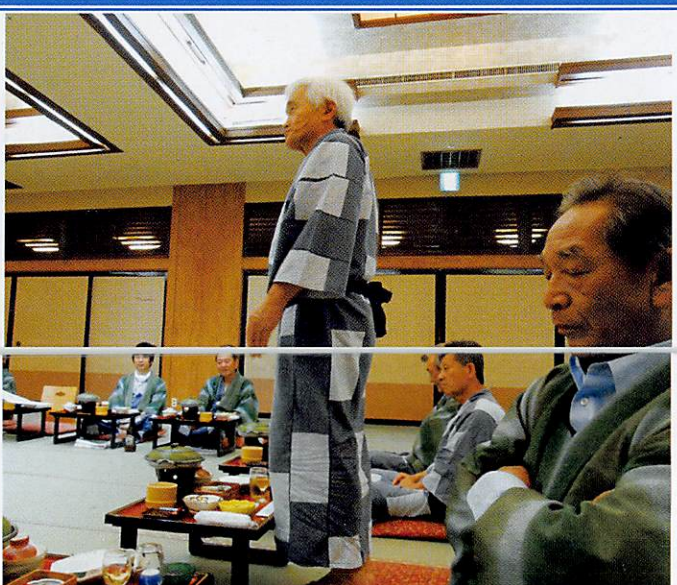
御首塚（『みしるしづか』と読みます）では市長をはじめ多数の来賓に出席いただいでての式典（法要・献香・献歌・献句・献茶・献吟）、隣の催し物会場では飲食販売11店、警察や消防など展示・体験の9コーナー、演技会場では地元の東幼小中の演技・演奏から神輿パレードまで9団体の踊りや演奏の披露、『実朝公の御首のゆくえ』の手作り紙芝居の上演、近くの金剛寺では実朝公関連所蔵品の展示、加えて子供たちが実朝公や武者、稚児の衣装をまとうて会場から金剛寺に向かう『稚児行列』と、いつも通り盛りだくさんの内容になりました。来年の十一月二十三日もぜひ実朝まつりに来てください。お待ちしております。



本町地区自治会長研修会の実施

平成最後の研修会を十一月四、五日に箱根湯本のホテルにて自治会長二十一名の参加を得て研修会を行いました。

今年度は、近年問題となつていまして「ごみの減量について」久保田環境資源対策課長補佐、池田市民活動支援課長をお招きし、「家庭で出来るごみの減量方法について」講演していただきました。2021年度のごみの有料化検討を回避するには燃やすごみの量を二千五百トン減らす必要があります。そのために燃やすごみの中身を選別した結果、プラスチック、古紙、ペットボトルなどが混入されている状況で、ごみの中の分別を徹底していただき、燃やすごみの量を減らさなければならぬと公演いただいた後、分別に関する質疑応答が活発になされました。自治会長の間でも各自自治会のごみに対する対応方法の意見が多数出され有意義な研修会となりました。研修会後の懇親会では、例年通りの飲み会ながら、中には研修会のごみ問題の続きも話し合うような懇親会となり、一部の自治会長同士で再議論するような機会になりました。



南地区 みんなで踊ろうの輪が拡大中!!



今年も九月に敬老会が十月にふれあいまつりが、好天のもと盛大に開催されました。自治連はじめ多くの団体のご協力と参加されたお子様からご年配の方々の熱意で楽しいひと時を共有することができました。開催日前にレクリエーション協会の方から自治会長も踊りを教えていただき、当日見様見真似を含め、一所懸命に踊りました。段々「上手だね」と言われ、ご機嫌で踊る人も増えていきます。今では小学生も積極的に参加して踊り手が増え、輪が二重になることもあります。今年は車椅子に乗った方も参加されました。

「はだのの弁天さまは歌で招くよ震生湖」ですが、南地区は「秦野音頭とたばこ音頭」で踊ろうの輪を通して支えあう心の繋がりが広がっています。

上地区について

最初に上地区のご案内をさせていただきます。上地区には五つの地区「三廻部、菖蒲、柳川、八沢、湯の沢」が有り九自治会で構成されています。上地区の面積を上地区の人口で割りますと秦野市で一番の面積となります。

次に上公民館祭りについて報告させていただきます。

第26回上公民館まつりは、十月二十一日雲一つない最高の天候に恵まれ、老若男女がそれぞれの持ち味、特技を全力発揮しご披露して頂きました。また、上地区以外から来られた方は、公民館から見る山紫水明の地に心を癒されておられました。

最後に十一月三日富山県で「第31回ねりんピック富山大会」が開催されゲートボールに「秦野上チーム」が神奈川県代表として参加し予想を上回る健闘をしてくれました。市長をはじめ市民の皆様からの応援に感謝申し上げます。



編集後記

「自治連だより」第40号をお届けします。今後も親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

- 広報編集委員会 委員長 栗原 孝夫(南)
- 委員 佐野 典文(本町)
- 委員 水上市 慶文(東)
- 委員 古谷 茂(北)
- 委員 内海 正廣(大根)
- 委員 関 修司(鶴巻)
- 委員 山田 義章(西)
- 委員 小宮 義雄(上)